



第 184 回 学長定例記者会見 お知らせ事項 2

令和 7 年 10 月 31 日

広島大学総合博物館イベント開催のお知らせ
第 33 回 ふむふむギャラリー
「標本の声を聴くーバックヤードから出てきましたー」

令和 8 年（2026 年）に開館 20 周年を迎える広島大学総合博物館では、第 33 回ふむふむギャラリー※「標本の声を聴くーバックヤードから出てきましたー」を開催します。

本展では、戦前の広島大学前身校で購入・製作され、研究・教育に用いられた標本、戦後の学術標本、そして近年新たに収蔵された標本まで、広島大学の教育・研究の歩みとともに受け継がれてきた標本の数々を紹介します。

中には、今では製作が困難となったものや、逆に現代だからこそ製作が可能になった標本も含まれています。

今回初展示となるのは、広島で活動する剥製師が製作したキジハタの剥製、本学学生が製作したベニズワイガニの標本および、3D プリンターで製作したメバルのフィギュアです。

それぞれの標本が持つ「記憶」と「物語」に耳を傾け、学びの深さと時代を超えた価値を体感いただける展示です。

■ 開催概要

期間：2025 年 10 月 29 日（水）～ 12 月 20 日（土）

開館日時：水～土曜日 10:00 ～ 17:00 （最終入館時間 16:30）

休館日：日・月・火曜日、祝日

（ただし、11 月 2 日（日）は開館）

会場：広島大学総合博物館 本館（広島県東広島市鏡山 1 丁目 1-1）

展示標本：約 40 点

入館料：無料

※ふむふむギャラリーとは…

広島大学総合博物館が定期的で開催している小規模企画展シリーズです。

名前の「ふむふむ」は、来館者が展示を見ながら「ふむふむ（＝なるほど）」と頷くような、気づきや学びが得られる場にしたいという思いが込められています。

【初展示物の紹介】



キジハタの剥製



ベニズワイガニの標本



メバルのフィギュア

【お問い合わせ先】

広島大学総合博物館
担当：池田 礼
TEL:082-424-4212
MAIL:museum@hiroshima-u.ac.jp

第33回ふむふむギャラリー

標本の声を聴く



バックヤードから出てきました

【期間】 2025年 10月29日(水)－12月20日(土)

【休館日】 日曜日（11月2日は開館）・月曜日・火曜日・祝日

【開館時間】 10時－17時（入館は16時半まで）

【会場】 広島大学総合博物館本館 [入館無料]